

御案内

本会第一一五回大会を次のように開きます。ふるって御参加下さい。

記

一期日 二〇一七年一月二日(土)・三日(日)

一場所 東京大学(本郷)

一参加費 一般二〇〇〇円 会員一〇〇〇円 学生(大学院生含む)五〇〇円

事前申込不要。両日参加できます。

一第四回史学会賞授賞式 法文二号館一番大教室(一月二日 午後一時)

一公開シンポジウム「ロシア革命と二〇世紀」

法文二号館一番大教室(一月二日 午後一時)

司会・趣旨説明

篠原琢・高島純夫

基調報告 ロシア革命一〇〇年にあたって考える

和田 春樹

報告

「世界史」をつくる革命

池田 嘉郎

「長い20世紀」とロシア革命

木畑 洋一

「文人」瞿秋白の革命ロシア体験

吉澤誠一郎

世界大戦後の「ロシア問題」と人の移動

館 葉月

コメント

宇山 智彦

討論

一総会 法文二号館一番大教室(一月二日 午後五時四〇分)

一懇親会 山上会館地下会議室(一月二日 午後六時三〇分)

会費三〇〇〇円

立食形式です。お気軽にご参集下さい。

一部会 (一月二日) — 詳細は別紙を参照 —

日本史部会

古代史部会 法文二号館一番大教室

研究発表 午前九時

中世史部会 法文二号館一番大教室

研究発表 午後一時三〇分

近世史部会 法文一号館二六番教室

研究発表 午前一〇時一五分

シンポジウム「近世の地方都市」午後一時一五分

近現代史部会

法文一号館三二二、三二五番教室 研究発表 午前二〇時

法文二号館一番大教室 シンポジウム「戦後史のなかの「国家神道」」午後二時

東洋史部会 法文一号館一三番教室 研究発表 午前一〇時

西洋史部会 法文一号館二五番教室 研究発表 午前一〇時

二〇一七年九月二〇日

各位

公益財団法人

史学会

日本史部会

- 古代史部会 法文二号館一番大教室
 研究発表(午前九時〜一二時三〇分)
 1 評官人・郡司の任用と大宰・総領制
 2 奈良時代の王権と内臣
 3 八世紀の僧綱下級職員の一考察
 4 日本・新羅の対外関係と東部ユーラシア
 5 八・九世紀の遣外使節の待遇——遣唐使を中心に——
 6 平安京の空間認識
 7 日本古代における奉斎儀礼の展開
 8 中世禅宗における舍利奇蹟譚と門派形成
 9 唐宋時代の台榭論争と虎関譚の『濟北集』
 10 南北朝期における武士団構造
 11 年貢散用状の記載から見る庄園支配の変質
 12 戦国初期の朝廷と武家
 13 足利義澄の自立と禅僧——細川兆家・近僧の動向をめぐって——
 14 近世史部会(午前二時一五分〜二時一五分)
 15 文化期から天保期までの日本における西洋情報の収集
 16 江戸幕府御家人の「キャリア戦略」
 17 嘉永・安政期の薩摩国産錫にみる幕藩関係
 18 花街の統制——幕末における京都・北野上七軒の営業規律を中心に——
 19 シンポジウム「近世の地方都市」(午後一時一五分〜五時一五分)
 20 司会・趣旨説明
 21 信州の諸都市と市場
 22 近世宇和島における芸能興行
 23 近世後期関東在方町における「町」財政の運営と構造
 討論

近現代史部会

- 研究発表 第一会場 法文一号館三二番教室(午前二時〜午後一時)
 1 「寛典」が求められるとき
 2 明治二年因州藩における凱旋将兵の無断解隊事件に見るその顛末——
 3 駐露公使榎本武揚の情報活動と対外認識の形成
 4 山県有朋の明治一九年沖繩視察について
 5 パルカン戦争における参謀本部の情報活動
 6 欧州外交関係の分析に着目して
 7 陸軍の日中戦争解決案と日米諒解案の作成
 8 戦後失業対策事業・失対労働者における在日朝鮮人
 9 研究発表 第二会場 法文一号館三五番教室(午前二時〜二時三〇分)
 10 西南戦争諷刺画の世界——西郷隆盛という役者——
 11 明治初期の府県税の運用——三府開港場諸県を中心に——
 12 明治初期の銭貨編纂
 13 地方税寄付収入の議定権問題——三新法から府県制へ——
 14 シンポジウム「戦後史のなかの「国家神道」」 法文二号館二番大教室(午後二時〜五時三〇分)
 15 司会・趣旨説明
 16 シンポジウムはなにを考えようとしているのか
 17 報告
 18 「国家神道」概念の近現代史
 19 村上重良「国家神道」論再考
 20 戦後憲法字における「国家神道」論
 21 「国家神道」論の現状をどう見るか
 22 コメント
 23 討論

東洋史部会

- 研究発表(午前二時〜一二時)
 1 漢初における符の下賜——中国古代帝国の支配構造解明のために——
 2 漢から新にかけての匈奴対策及び王昭君一族の外交的寄与
 3 後漢地方官制における本籍回避の再検討
 4 漢魏史料論——「状」と人事制度の関係から——
 5 研究発表(午後一時〜五時)
 6 唐太宗の「聖」イデオロギ概念と「聖」皇帝の諡号伝承について
 7 安禄山と張守珪——史思明と烏知義——正統性の獲得と関連して——
 8 宋代における福建沿海部の信仰空間
 9 泉州の清水祖師信仰を手掛かりとして——
 10 一七・一八世紀バタヴィアにおけるアヘン消費と流通
 11 郵報の発行と流通からみた清朝中央情報伝播の展開
 12 マンギト朝における君主号の変容——ハンからアミールへ——
 13 中華民国初期における華僑参政権と在米中国人
 14 南京国民政府時期における刑事上訴制度

西洋史部会

- 研究発表(午前二時〜一二時)
 1 「一人」の規律と統制——クセノフォン「アナバシス」試論——
 2 古代ローマにおける庭園とその空間
 3 一三世紀前半の都市トリアにおける統治機構の展開
 4 研究発表(午後一時〜三時四〇分)
 5 コモン・ローの形成に対する教会裁判手続と国王裁判手続
 6 三王国戦争期ブリテンでの被害者供述書出版
 7 プリテイッシュ・ワールドにおける属領インド
 8 福音主義と自由主義的帝国主義のヴィジジョン——
 9 日露戦争下のベルリン和独会による義捐活動の実態
 10 ドイツ語月刊誌 Ost-Asien 手がかかると

日本古代史部会第1報告は都合により取り止めとなりました